

放課後等デイサービス自己評価チェックリスト見直し及び意見に対する回答と改善案

はじめに

くじらっこで行われている環境を含む支援内容及び体制について、今後の支援の質の向上をはかる改善策を検討いたしましたので、以下に詳細をご報告いたします。

1. 現状分析

項目①について

- ・子ども達が小学生の時は、動きもまばらで集団活動に慣れていないため、室内を見渡せるため丁度いい空間だと思う。
- ・子供たちが中高生になると成長に伴い、集団活動ができるようになるが、体が大きいため空間が狭く感じる。

項目②について

- ・職員に対し研修を実施し、アルバイトにたいしては実習期間を設け採用をしているが、スタッフ教育（研修等）実施に関する広報不足。

項目③について

- ・室内に手すりなどが無いため、バリアフリーの印象が薄い。

項目⑤について

- ・活動内容が同じでも、子ども達の成長や関わりによって要する支援の内容や場面が変わって来る。そのため代わり映えのしない内容に映ってしまう。
- ・開設当初から、家庭でも学校でもない第三の居場所と銘打ち、しょうがいを抱えた子ども達の誰もが、そのサービスを受けることが可能な場所であるため、敢えて活動プログラムを設定していない。その事から、日々の工夫が伝わりづらいのではないか。
- ・広報不足。

項目⑥について

- ・サービス提供時間内に参加することが難しい。
- ・学童クラブや児童館となると、中高生の参加が難しい。
- ・地域との関わりや、活動参加などの広報不足。

項目⑩について

- ・保護者会の活動については、以前検討したことがあるが、ニーズが無かったため実施していない。

項目⑪について

- ・お迎えの際に報告、情報交換、必要に応じて面談や相談に応じているため、苦情に至らずに済んでいる。

項目⑫について

- ・活動時間を子ども達に提供したい事から、連絡帳でのやり取りをしていない。（例外有り）日々、玄関先で口頭によりコミュニケーションを図っているが、配慮が足りないのかもしれない。

項目⑬について

- ・市内の活動展や作品展、学園祭等で活動の様子などを紹介しているが来場者が少ない。
- ・事業報告は行っているが、自己評価を行っていない。
- ・広報不足。

項目⑮について

- ・マニュアルを策定しているが、保護者に対し周知・説明が不足している。

項目⑯について

- ・避難訓練や研修等の実施についての報告が十分ではない。
- ・広報不足。

2. 課題別改善策と問題点

環境・体制整備について

- ・引越しの予定はないので、空間的な課題は解決が難しい。今後もグループ別活動を取り入れるなど、成長や状況に合わせた空間の利用や環境整備、活動を検討し提供する。
- ・職員研修報告をアルバイトにフィードバックする。
- ・アルバイトに対し、個々の支援目標を伝え、支援に必要なスキルや活動中に困った事、疑問に感じた事は、今後も迅速に指導及び対応する。
- ・ケース記録はエピソード記録の方法を用い、自分以外のスタッフが、どの様に向き合って支援をしているかが確認できるシステムを取り入れているが、今後は更に、課題をピックアップして会議に繁栄する。
- ・現時点ではトイレ以外に手すりなどの設備を必要としないが、状況に合わせて環境整備を行う。

適切な支援の提供について

- ・地域など積極的に関わりをもつ機会を提供しているが、広報や活動報告が十分でないために、評価が低かったと考える。今後はホームページに「くじらっこ通信」として毎月発信と報告を掲載する。

保護者等への説明について

- ・各ご家庭の環境や状況を考慮すると保護者会の必要性が感じられないが、要望があれば茶話会などの検討をする。
- ・苦情については、苦情に至らないことが何よりなので、報告、連絡、相談を丁寧にかつ速やかに行う。
- ・随時、相談や面談の受け入れをしているが、ご家庭のご都合等で保護者様自身の時間をつくるのが難しいと思われる場合もある。必要に応じて、休日や夜間帯に時間を設定することも必要かもしれない。

非常時の対応について

- ・防犯マニュアルの作成を急ぐ。
- ・感染時期に合わせた一覧表や、手洗い方法などを掲示し活用しているが、会報等で発信してい

ないので、今後は「くじらっこ通信」により発信を強化したい。

- ・避難訓練や救命講習などの実施に関しても、実施報告を「くじらっこ通信」で発信したい。

その他

自己評価チェックについては、今後も職員向けと保護者向けの調査を行い、支援の質の向上に努め、保護者の皆様や子どもたちに安心してサービスをご利用いただけるようにする。

3. 結論

今回の評価結果から見えてきた大半の課題は、広報不足と考える。活動予定や報告、業務の進捗状況などがわかるようにホームページを活用したい。

4. 所感

平成 24 年 4 月 1 日に児童福祉法が改訂され、民間企業の参入により開業ラッシュから放課後等デイサービス事業所が増えました。療育を取り入れている事業所、学習（勉強）をメインにしている事業所、活動プログラムから利用日を選べる事業所など、サービス内容は多岐に渡っています。利用にあたっては選択肢が増えたと思いますが、そのことから過当競争が始まっているのも事実です。昨今、利益優先やテレビを見させるだけで殆ど支援をしていないなど、実態が明るみになり、厚生労働省は次年度 4 月から運営条件の厳格化を進める方針が固められました。サービス利用に当たっては、子ども達の個性や成長、利用目的を明確化し、検討した上でサービスを利用していただきたいと切に願います。

当事業所は、誰もが通える居場所を目指しています。プログラムに合わせた支援ではなく、今日のメンバーで、今の年齢で、今の成長段階で、または今後どのような関わりが必要か？ **力を発揮するのに必要な支援は何か？ 反抗期や思春期を如何に過ごすか？** など、個々の成長に合わせた集団活動を提供しています。土曜日の活動に関しては、地域の方との触れ合いを重視して、五日制の会への参加、餅つきへの参加、買い物の練習や、調理、または外出など公共の場でのマナー及び協調性を学ぶ機会を提供しています。また、春・夏休みには日帰り旅行を企画し、集団行動に関わるルールやマナー及び社会性を学ぶ機会を提供しています。放課後の数時間の活動は、友だちと同じ空間で過ごせる事（挨拶、譲り合い、我慢、言葉遣い、表現方法、意思表示、協調性など）や、日常生活動作など（トイレトレーニング、手洗い、食事、片付け、配膳、下膳、身だしなみ、シャンプー、買い物、運動、着脱など）の習得に向けた支援と、個別支援目標に合わせたサービスを提供していますが、今ここにいる子どもの顔を見て、活動内容を組み立てているため、今ひとつ活動内容が見えて来ないのかもしれないかもしれません。これからは、保護者に、安心して利用していただけるよう、広報活動も強化したいと思います。

しょうがない子どもと活動をする機会については、回答どおり、可能な関わりの場を提供していますが、今後は積極的に情報を収集し、参加方法を検討して行きたいと思います。地域の方に広くこの事業を知ってもらい、子ども達の輝ける場所を目指し、その成長を応援したいと思います。

関連事業所とは、今後も連携を図り情報交換を行い、互いにサービスの質の向上につながるよう関係性の強化。学校との連携については、今以上の関わりが持てるような工夫を課題として検討したいと思います。

保護者向け自己評価表集計結果による回答

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	回答
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1 1	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・欲を言えばもう少し広いと良いです。 ・もう少し大きいと良いなと思います。 	<p>国の基準を満たしています。</p> <p>子どもの成長や性別、特性等により空間的に狭く感じる時期もあります。個性を重んじながら活動内容を工夫したいと思います。</p>
	②	職員の配置や専門性は適切であるか	1 4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・国の基準でいえば十分ではないかもしれません。 	<p>国の配置基準を満たしています。</p> <p>要する資格や研修等行っています。</p>
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1 2	4	0		<p>主たる障がい種別を重症心身障がい児以外としている事から、室内の手すりの設置はしていません。</p> <p>全床フラット・トイレ手すり・玄関すのこスロープ設置しています。</p>
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	1 6	0	0	<p>家と放課後等デイサービスとの態度が違うので将来に向けて必要な事や、多人数だからできるルールやマナーなどを覚えて行けたら良いと思っています。そちらでの成長にあったステップで課題やご指導をお願いします。子どもが楽しく成長できているのが嬉しく思っています。</p>	<p>今後も細やかに成長過程を見守り、個性と集団活動に要する支援させていただきます。</p>
	⑤	活動プログラムが固定しないように工夫されているか	1 4	2	0		<p>当事業所はプログラムを設定し、要する支援を行うのではなく、子ども達の成長を見守りながら、日々の遊びや関わりの中で、個人と集団活動に要する支援を行っています。</p>

	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の行事（餅つき、焼き芋、その他）に参加しても良いのではと思います。 ・知りません ・よく分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇中の参加は可能と思われますが、中高生が多いことから参加が難しい。 ・公園外出時は、地域の子供達と遊ぶこともある。 ・五日制の会主催の活動などに参加し、異性、異年齢、地域の方との関わりの場を提供している。またピアノ教室発表会を見に行くことや春・夏休みのイベントでは日帰り旅行を企画し、積極的に社会との関わりをもつ機会を提供している。
保護者等への説明	⑦	支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	16	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通例会が出来ている	16	0	0		
	⑨	保護者に対し面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	0	0		

⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	9	・保護者会はなくてもよいです。（日常話ができているので）	お迎え時に保護者様同士が顔を合わせ、異年齢、異性の成長やその他の情報交換ができる場を大切に思っています。 ご要望があれば応じます。
⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	4	0	・特に苦情はなかった。 ・分かりません。	お陰様で苦情はありませんでした。 苦情窓口の設置については契約時に説明をさせていただいています。また、相談室内にポスターの掲示をしています。
⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0		
⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	2		法人の会報を4回／年発行し郵送させて頂いています。またホームページもご覧ください。 http://www.kaiyu.or.jp 自己評価を定期的に行い、その結果を報告します。
⑭	個人情報に十分注意しているか	16	0	0		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明しているか	6	7	2	知りません。	緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルは策定しています。防犯マニュアル検討中です。いずれにせよ保護者様には周知・説明不足でした。
	⑯	非常災害発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	8	0	知りません。	毎年、避難訓練を行っています。訓練時の撮影記録と振り返りをしています。救命救急講習を受講しています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大変楽しみにしています。 ・◎ 	これからも子ども達の居場所としてご満足いただけるように努めます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援のおかげで息子の居場所ができ大変満足しています。 ・自宅や学校ではできない遊びを思いっきりさせてもらって感謝しています。 ・◎ 	今後も一人一人を大切に満足いただけるサービスが提供できるように努めます。